



石川県議会
マスコットキャラクター
石若丸
いし わか まる

県議会だより いしかわ

オール石川で復旧・復興を！



岸田総理大臣に要望書を提出しました(石川県庁にて、右は焼田議長)



協議会冒頭では、犠牲となられた方々に対し黙祷をささげました

令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて、県議会ではさまざまな取り組みを行っています。1月14日、石川県入りした岸田総理大臣に、15項目の要望書を手渡し意見交換しました。この中で、岸田総理大臣は「被災者が一日も早く本来の生活を取り戻せるよう、地元と心を一つにして努力したい」と語りました。

17日には県議会全員協議会を開き、知事から被害状況やその対応を聴取しました。県執行部に対しては、被災者に寄り添った支援を進めることやライフラインの早期復旧、児童生徒の就学機会の確保などを申し入れました。

● 応急仮設住宅の建設を進めています ●

県では、応急仮設住宅を各所に建設しています。すでに入居が始まっている輪島市の応急仮設住宅は、キッチンやトイレといった設備はもちろん、気密性の高い窓、木のぬくもりが感じられる内装を備えています。



輪島キリコ会館多目的広場に設置された応急仮設住宅

今号の
トピックス

- 県議会ダイジェストVol.3、Vol.4
- 北陸新幹線 3月16日に県内全線開業しました

県議会ダイジェスト

Vol.3

定例会や常任委員会などで意見を述べたり質疑を行ったりすることで、県民の皆様の要望や思いを県政に届け、県の取り組みに反映させる。これは、議員の重要な役割の一つです。令和5年12月定例会予算委員会で9人が行った質疑の一部を掲載します。

※各委員の二次元コードから質疑の映像をご覧くださいませ。



二次元コードからチェックしてね!

石川県議会ホームページで、本会議・予算委員会の生中継や過去の映像をご覧くださいませ。

稲村 建男

いなむら たけお

11期 自由民主党



県際道路・国道415号について

Q 災害時の緊急輸送道路である国道415号の羽咋市神子原町から富山県境までの区間は、急カーブが連続しており、早急に整備を進めるべき。

A 国道415号の羽咋バイパスII期区間から神子原町地内の県道所司原神子原線と分岐するまでの区間は、来年度の整備着手を目指し、今年度から調査を開始した。また、残る県境部分の区間は、国が令和2年度から調査を進めている。引き続き羽咋市や富山県等とも連携し、早期事業化に向けて着実に取り組む。



中村 勲

なかむら いさお

7期 自由民主党



県市連携について

Q 金沢大学から各高等教育機関をつなげる「学園道路」を整備すれば、市中から波状的に広がる「学都金沢大外環状道路」が実現する。こうした取り組みについて所感を聞く。

A 金沢市が平成4年度に策定した「道路ネットワーク整備計画」の一部である本計画は、大学間の連携を促進させ、学園都市としての魅力を高める。ひいては中山間地域の活性化にもつながることから、引き続き、必要な予算確保を国に働きかけるなど、道路整備の促進が図られるよう市を支援していく。



安居 知世

やすい ともよ

4期 自由民主党



障害者就労施設の受注機会の拡大について

Q 複数の障害者就労施設に仕事を割り振る「共同受注窓口」の活用や、役務の発注先を増やすといった、施設の受注機会拡大に向けた取り組みの推進について県の考えを聞く。

A 他県の取り組みも参考に、清掃業務等の役務を切り出して発注する施設の増加を図るとともに、調達先の対象に「共同受注窓口」として設立された協同組合なども加えることとし、障害者就労施設の受注機会のさらなる拡大を促進し、障害のある方々の自立と社会参加の促進に取り組んでいきたい。



太郎田 真理

たろうだ まり

3期 自由民主党



女性のウェルビーイングについて

Q 女性特有の健康課題をテクノロジーの力で解決する、フェムテック分野の製品やサービスを開発する企業に対して支援すべき。

A 県では、地域課題を吸い上げ、その解決に向けたビジネスモデルを考える「共助のビジネスモデル検討協議会」を今年度、設立した。社会課題解決に向けた新商品等の開発支援メニューを新たに設けた「成長戦略ファンド」などもうまく連携させ、フェムテック分野の製品・サービス開発をしっかりと支援していく。



安実 隆直

あんじつ たかなお

2期 自由民主党



能登牛の振興について

Q 子牛生産農家の経営安定を図ることは、能登牛の安定供給やブランド力の強化につながると思うが、子牛の品質や価格向上に向けた県の取り組みを聞く。

A 国に対し、和牛肉の需要拡大の推進を要請するとともに、本県独自の課題を洗い出す。肥育農家のニーズに応じた対策として、子牛の育成技術向上研修会の開催や、肉質が良くなるとされる血統の情報提供などを行う。品質の良い子牛を生産することで、能登牛の販売価格上昇を図る。



小松 実

こまつ みのる

1期 公明党



県立あすなろ中学校について

Q 令和7年4月に開校する県立あすなろ中学校について、知事の思いを聞く。

A 夜間中学は、さまざまな事情で義務教育を十分に受けられなかった方などに教育の機会を確保する学校で、本県でも、北陸初の県立夜間中学校となる「県立あすなろ中学校」を設置することとした。県教委において市町教委と連携しながら準備を進めており、令和7年4月の開校に向け、しっかりと取り組んでまいります。



亀田 豊

かめだ ゆたか

1期 自由民主党



小松空港の国際化推進について

Q 小松空港の新規路線開拓と、小松空港を世界と日本各地をつなぐ玄関口とする「日本海セントラルゲートウェイ化」に向けた意気込みを聞く。

A 小松空港の日本海セントラルゲートウェイ化に向けては、小松基地との共存共栄を図りながら、新規路線開拓や既存路線増便などにより航空ネットワークを拡充することが重要である。今後も航空会社への働きかけや北陸地域の魅力発信等に全力で取り組んでいきたい。



田中 美絵子

たなか みえこ

1期 未来石川



子ども食堂について

Q これまで知事は子ども食堂に積極的に関わってきたと認識している。子ども食堂への思いについて聞く。

A 子ども食堂は、子どもが食を通じてさまざまな人と触れ合うことができる居場所の一つとなるだけでなく、ひとり親家庭の親の相談の場としても活用されるなど、大切な取り組みである。今年度は市町とも連携し、開設準備補助やアドバイザー派遣による支援を開始した。引き続き継続していく。



竹田 良平

たけだ りょうへい

1期 自由民主党



警察施設について

Q 建設費高騰や施設の老朽化を考慮すると、建て替えの予算を増額して対応する必要があると考える。今後の取り組みや設備更新の方針を聞く。

A 交番等の整備については、施設の老朽化の程度、管轄地内の事件・事故等の発生状況、警察予算全体の状況等を踏まえ、取り組むべき治安課題への優先度も含めて総合的に勘案し、逐次行っている。今後も設備の老朽化や、地域の実情・ニーズ等を踏まえ、必要な予算確保と計画的な整備を進めていく。



県議会は傍聴・見学ができます!

傍聴は、本会議や委員会の当日に議事録舎1階で受け付けています。また、5人以上の団体が議場見学もできます(見学の1週間前までに事前予約)。

- 団体見学予約: 県庁総合案内 TEL.076(225)1111
- お問い合わせ: 議会事務局企画調査課 TEL.076(225)1036



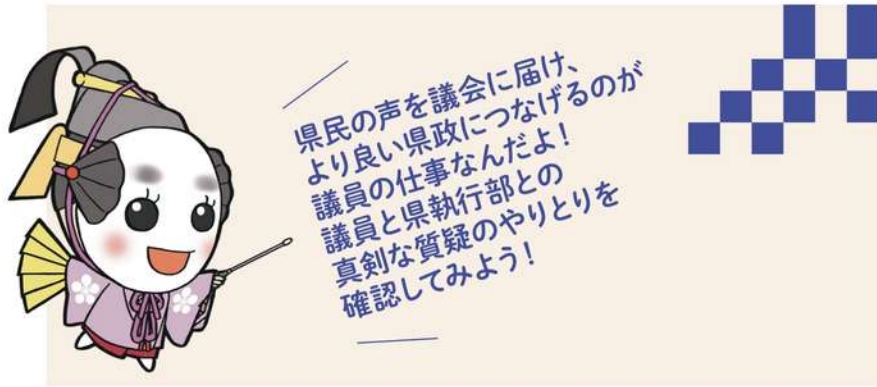
県議会ダイジェスト

Vol.4

県議会ダイジェストVol.4は今年度開催された定例会、常任委員会の中から、9人が行った質疑をピックアップして紹介します。



※各議員・委員の二次元コードから質疑の映像・会議録をご覧いただけます。



沖津 千万人

おきつ ちまこ

3期 自由民主党



令和5年7月大雨災害への対応について

Q 災害発生時には迅速な初動対応が求められるが、今回の大雨災害での教訓を、今後の農業災害への対応にどのように活かしていくのか。

A 被害を最小限に食い止めるには、一刻も早く現場の状況を把握することが重要であると再認識したところであり、今後、大規模災害発生の際は、県職員の被災地派遣や全農林総合事務所に追加配備したドローンの活用により、早急に被害の全容を確認し、優先順位をつけて復旧に努めてまいります。



車 幸弘

くるま ゆきひろ

3期 自由民主党



白山手取川ジオパークについて

Q ユネスコ世界ジオパーク認定は観光誘客の追い風になると考える。この認定を契機とする情報発信や誘客について、県の取組方針を聞く。

A 首都圏でのメディア向け観光PR会議の開催など、機会を捉えた広報活動を行うとともに、海外に向けては、SNSや欧米、オーストラリアに配置している観光レップ(自治体の代理でプロモーションなどを行う事業者)の活用により、白山手取川ジオパークの魅力を積極的に発信し、具体的な誘客につなげたい。



下沢 佳充

しもざわ よしたか

8期 自由民主党



令和6年能登半島地震災害義援金の配分事務について

Q 今回の地震で甚大な被害を受けた能登6市町の全住民に5万円を配分するにあたり、被災市町に負担をかけず事務手続きを進めることはできないのか。

A 人的・住家の被害程度に応じた配分は、過去の災害と同様に各市町での手続きをお願いする一方、当該事務に関しては、被災市町に多大な負担がかかることから県で行う。詳細は現在調整中だが、整い次第、広く周知を行い、早期配布を目指す。



吉田 修

よしだ おさむ

5期 未来石川



信号機のLED化について

Q これまでの電球式信号機と比べて、LED式信号機は太陽光の影響を受けることが少なく大変見やすいと思う。県内の信号機のLED化についてどのような計画があるのか聞く。

A これまでも計画的にLED化を進めてきたが、信号機用電球製造メーカーが令和9年度末で電球の製造を終了するため、整備計画を練り直し、令和10年度末までに県内全ての信号機をLED化することとし、更新整備を加速することとしている。



善田 善彦

ぜんだ よしひこ

4期 自由民主党



外国人労働者の対応について

Q 人手不足が深刻化している中で、貴重な働き手となる外国人労働者について、受け入れを希望する県内企業向けに雇用に関する相談窓口を設置してはどうか。

A 外国人労働者を雇用、または雇用の検討をしている企業向けにセミナーや専門家による伴走支援を行ってきたところだが、県内企業からは外国人労働者の採用に関するノウハウがないなどの声が寄せられており、議員提案のワンストップ相談窓口の設置について検討を進めていきたい。



川 裕一郎

かわ ゆういちろう

4期 参政党



食と健康について

Q 放射線照射を用いて育種されたコメの品種「コシヒカリ環1号」について、産地品種銘柄の設定に至った経緯と生産量の推移を聞く。

A 米などの「産地品種銘柄」は、県のほかJAや農家等の申請に基づき、国が都道府県ごとに定めている。今回お尋ねの件については、県内の農家が国に直接申請し、令和2年に設定された経緯がある。県内生産量について国に確認したところ、令和2年産が6トン、令和3年産が3トンで、令和4年産はデータがないとのことだった。



県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。また、議会だよりに関するご感想もぜひお寄せください。



メールアドレス
gikai@pref.ishikawa.lg.jp

田中 敬人

たなか たかひと

3期 自由民主党



EBPM (エビデンスに基づく政策立案) の導入について

Q EBPM本格導入にあたっては、データを扱う人材の育成や部局間でのデータ共有など多くの克服すべき課題があると考えますが、導入への知事の決意を聞く。

A EBPM実施にあたり、データを扱う人材育成のために外部からデータアナリストを配置するとともに、データ分析のスキルアップを図るための説明会を実施した。部局の垣根を越えてのデータ共有も重要であり、今後、さまざまな工夫を講じながら、より効果的な施策の実施につなげていきたい。



堂前 利昭

どうまえ としあき

1期 自由民主党



宇出津港、小木港の復旧について

Q 地震被害により、宇出津港や小木港において、荷揚げなどができない状況になっている。復旧の見通しを聞く。

A 港湾施設内に陥没、ひび割れ、段差などができ、漁業活動に支障が生じているため、まずは応急復旧として、陥没箇所や亀裂箇所などの埋め戻しや段差解消などを実施した。さらに今後は、アスファルトで覆う作業なども行い、漁業関係者が円滑に漁に出られるよう努めていく。



石田 章

いしだ あきら

1期 自由民主党



1次・2次避難所からの移動について

Q 恒久的にも使える「熊本モデル・石川モデル」の仮設住宅を造るまでの間、避難所にいることは可能なのか。地元に戻るまでの道筋を避難住民にわかりやすく示せ。

A 現在避難所で生活している方がみなし仮設・公営住宅に移るのか、今しばらく2次避難所での生活を希望されるのか、ニーズ調査を行った上で、市町とも連携しながら今後の選択肢をきっちり示し、地元に戻るまでの見通しを持っていただきたいと考えている。





開業により、金沢―敦賀間が最速41分で結ばれたほか、小松―東京間は開業前と比べて18分短い2時間40分、加賀温泉―東京間は24分短い2時間43分の所要時間で移動できるようになりました

北陸新幹線

3月16日に県内全線開業しました

白山市立高速鉄道ビジターセンター トレインパーク白山



高速鉄道ビジターセンター「トレインパーク白山」が3月13日、白山総合車両所の隣にオープンしました。にぎわい創出拠点として「新幹線学びと体感エリア」「観光情報 おみやげエリア」「新幹線 見学エリア」などが設けられています。

小松駅



銀嶺の白山を立体的・多面的に表現した小松駅舎

北陸新幹線が3月16日、福井県の敦賀まで延伸し、石川県内の全線が開業しました。首都圏、関西圏から観光・ビジネスで訪れる人の増加が見込まれており、交流人口の拡大とそれに伴う経済効果が期待されています。新幹線新駅としてそれぞれの地域の特徴が感じられるデザインでオープンした小松駅、加賀温泉駅には、多くの観光客、ビジネス客が乗降しており、本県ならではの魅力に接しています。



木場潟越しの 白山の眺望



県はJR西日本と協力し、乗客に木場潟越しの白山を楽しんでもらえるよう、防音壁の一部に透明板を設置しました

加賀温泉駅



伝統的な町並みに見られる紅殻格子(べんがらごうし)のデザインを取り入れた加賀温泉駅舎

県議会の活動を伝える広報紙

県議会
だより
第47・48
合併号

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)
令和6年3月31日発行

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索

